

兵庫県看護協会活動のあり方 —2040年を展望して—



Hyogo Nursing Association
公益社団法人 兵庫県看護協会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5丁目6番24号
TEL (078) 341-0190 FAX (078) 361-6652

2021年(令和3年)7月

公益社団法人 兵庫県看護協会

兵庫県看護協会活動のあり方 —2040年を展望して—

はじめに
(策定の趣旨)

2025年を目前に控え、全世代型地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進んでいる。さらにその先の2040年を見据えた検討も始まっており、兵庫県看護協会においては、今後の事業展開の指標となる活動の「あり方」を取りまとめることとした。

2040年の兵庫県を展望して

“看護”に関わる社会の変化を概観

- 1 少子高齢社会の進展
「人口減少・現役世代の減少」**
 - 人口減少・少子高齢化の進展に伴う高齢者の課題の質的变化と介護サービス需要の増加と多様化
 - ケア人材の不足と、人材確保戦略の必要性
- 2 健康寿命の延伸**
 - 若くて健康なうちから健康を意識した行動変容や生活習慣病の予防による健康寿命の延伸
 - ICTを活用した、変容した行動の継続と習慣化
- 3 地域包括ケアシステムの推進と
医療機能分化・強化、連携推進**
 - サービス利用者の視点に立ちニーズに見合ったサービスが切れ目なく提供される医療・介護提供体制の構築
 - 一人ひとりの県民の自立と尊厳を支え、地域の実情に応じた切れ目のない医療介護提供体制の構築と医療機能の分化、連携の一層の推進
- 4 看護職の働く場・対象・役割の多様化**
 - あらゆる場での一層の看護職の確保と、能力の拡大・拡充、やりがい感の醸成
 - 働き方改革を推進し、ライフサイクルやライフスタイルに合わせた柔軟な働き方の構築
- 5 災害の多発化・激甚化への備え**
 - 災害の多発化や激甚化に備えるための医療・看護・介護体制づくりと住民を巻き込んだ災害に強いまちづくり
 - 新興感染症に対応できる医療提供体制の整備
 - 地元志向で地域で活躍する看護職の育成
- 6 先進医療と医療・介護分野における
ICT(情報通信技術)との共生と看護の本質の継承**
 - 医療技術の進化や先進医療、住民の価値観の増加に対応できるよう、倫理的視点を持った住民の意思決定の支援
 - ICT(情報通信技術)との共生による労働環境の改善、看護ケアの効率化、質の向上
 - 異分野、多職種との連携と協働の推進

2040年の兵庫県の看護職を取り巻く

6つの問題点

- 1** 超高齢社会による介護ニーズの増大や生産年齢人口の減少、看護職の働く場の多様化に伴う看護人材の不足
- 2** 医療の高度化・複雑化、県民の価値観の多様化に対応するために求められる高い専門性
- 3** 医療機能の分化と地域包括ケアの一層の進展による高い地元志向や多職種連携の必要性
- 4** 地域包括ケアの一層の推進のため、県民と共に安心して元気に暮らせる地域づくり支援の必要性
- 5** 2040年のデジタル社会に対応し看護を発展させるための看護の本質の継承と異業種との連携
- 6** 地球温暖化等に伴う災害の多発化・激甚化、新興感染症への対応

兵庫県看護協会の取り組みの

現状と今後の課題

- 1 看護職の確保と定着促進**
 - 採用の取り組み ●復職支援 ●定着促進
 - 訪問看護・介護分野における看護職員の確保
- 2 看護職の能力拡大・拡充**
 - ジェネラリスト看護師の育成
 - 看護管理者の育成
 - 専門性の高い看護職の育成 ●ICTの活用推進
- 3 県民の健康づくり・地域づくりへの支援**
 - まちの保健室活動
 - 地域看護連携ネットワークによる地域貢献
 - 防災・減災への取り組み
- 4 多職種・異分野との連携**
- 5 災害・健康危機支援体制の強化**
 - 災害支援ナースの育成
 - 平時からの災害健康危機体制の整備
 - 感染症に対する地域での支援体制構築

2040年に向けた

兵庫県看護協会活動のあり方

本会が
「目指す看護」

社会環境の変化に対応し、「デジタル化の進展と共生しつつ効率的で質の高いケアを提供する看護提供体制の仕組みづくり」、「地元の人や地元の仕組みとつながり創造する地域づくり」に取り組むために、以下の2点を提案する。

“時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護”

“県民の誰もが自らの生き方を選択でき、どのような状況であっても心から幸せを実感できる生き方を支える看護”

目指す看護を実践していくために —2040年に向けた活動のあり方—

1 看護の価値を広め 魅力ある職業にしていく

- 1 ケアのすそ野を広げる
- 2 デジタル化の中で変化する看護と変わらない看護の本質
- 3 生涯キャリア発展の仕組みづくり

2 全世代型地域包括ケアを推進するため、 地元に根付いた看護を創造する

- 1 9支部活動の独自性の発展
- 2 地元に根付いた看護の創造

2040年に向かっていくための

当面5か年の取り組み

1 看護職の人材確保と定着促進

- あらゆる場で働く看護職の人材確保
- 地域で働く看護職の定着促進

2 看護職の能力拡大

- より複雑化する医療・看護・介護に対応できる看護職の育成
- 看護管理者育成と多職種協働・連携強化

3 県民への健康づくり・地域づくりの支援

- まちの保健室 ●健康寿命の延伸に向けた支援
- 全世代型地域包括ケアシステムの構築

4 多職種・異分野との連携の推進

- 多職種連携の推進 ●異分野との連携の推進

5 災害・健康危機支援体制の強化

- 災害に備えた支援・受援体制整備
- 平時からの関係構築
- パンデミックへの対策強化

6 組織力(団体としての力)の強化

- 会員の確保・拡大 ●認知度の向上
- 支部の活動・体制の強化 ●経営基盤の安定化

あとがき
(今後に向けて)

変わらない「看護の本質」と「兵庫県で看護をする魅力」

2040年を展望して、中長期的な本会の目指すべき方向性、活動のあり方を検討し示した。検討の中で常にこだわったのは、時代や社会情勢に応じて変わるもの・変わるべきものと、変えてはいけないもの、変わらない看護の本質である。ゆるぎない看護の本質、「ワクワクする看護の魅力・喜び・看護の心、専門性」を「兵庫県で看護をする魅力」として表現し、それが、看護の現場で実践され、次世代へつないでいく役割が、兵庫県看護協会にはある。

2040年を展望し、時代や社会情勢の変化に的確に対応しつつ、2040年に向かって看護職として県民と共に歩みを止めず、前進していきたい。